

豊橋市自転車活用推進計画「2021-2030」に基づく目標値の達成状況について

方針	指標	現状値	目標値	目標設定の考え方	前期					考察
					R3	R4	R5	R6	R7	
自転車で行ける範囲では【気軽に自転車】に乗れる環境づくり	市街化区域内の自転車利用者の割合 市街化区域内32地点での交通量調査に基づき設定(県立豊橋商業高校実施調査を活用)	4.8% (令和元年度)	7%以上 (令和12年度)	自転車でも行けるような身近な場所でも、自家用車を選択してしまう状況も見られます。自転車でいける範囲で、もっと気軽に自転車が選ばれる環境整備を進めます。その達成状況を評価するため、市街化区域内における【自転車利用者の割合】をもとに検証を行います。	4.1%	4.5%	4.8%	-	-	・市街化区域内の自転車利用者は計画策定時の現状値(令和元年)の割合まで回復した。目標値達成のために自転車移動による健康効果などの啓発を行い、自転車への転換を図っていく。
いつもの通勤・買物、余暇での移動を“運動時間”にする【自転車健康ライフ】の環境づくり	通勤時の自転車利用率 従業員50人以上※の事業所での通勤時の自転車利用者の割合 ※豊橋商工会議所会員のうち従業員50人以上での届出の事業所	7.2% (令和2年度)	9%以上 (令和12年度)	近年、健康経営に向けたさまざまな取り組みが行われており、エコ通勤の推進として自転車通勤が進められています。日常の中での自転車活用を通じて健康づくりにつなげていくことが期待されます。達成状況を評価するため、市内事業所を対象に簡易的なアンケートを実施し、【通勤時の自転車利用率】をもとに検証を行います。	7.3%	7.1%	6.5%	-	-	・前回から減少した要因として、自転車通勤者数の多かった企業において、通勤方法に対する集計方法が変わったことが考えられる。 ・集計の結果、運輸業、製造業は自転車通勤者の割合が低く、労働環境が要因の一つと考えられる。
“自転車×とよはし”ならではの魅力を活かした【自転車で楽しめる】環境づくり	自転車を健康づくりや余暇の楽しみのために利用している人の割合 市民アンケート調査での「健康づくりや余暇の楽しみのための自転車利用」に関する設問より把握	5.5% (令和元年度)	8%以上 (令和12年度)	サイクルスポーツやサイクリング、健康づくりでの自転車利用など、楽しむための自転車利用ニーズが増えています。イベントの開催や道の駅「とよはし」、太平洋岸自転車道を活かし自転車×とよはしの魅力活用を進めます。その達成状況を評価するため、市民に対するアンケート調査を通じて【自転車を健康づくりや余暇の楽しみのために利用している人の割合】をもとに検証を行います。	R7 報告予定					